

2020年 2月 1日

# 2月の星空情報

発行 黒石すばるの会

<http://subaru9614.dip.jp>

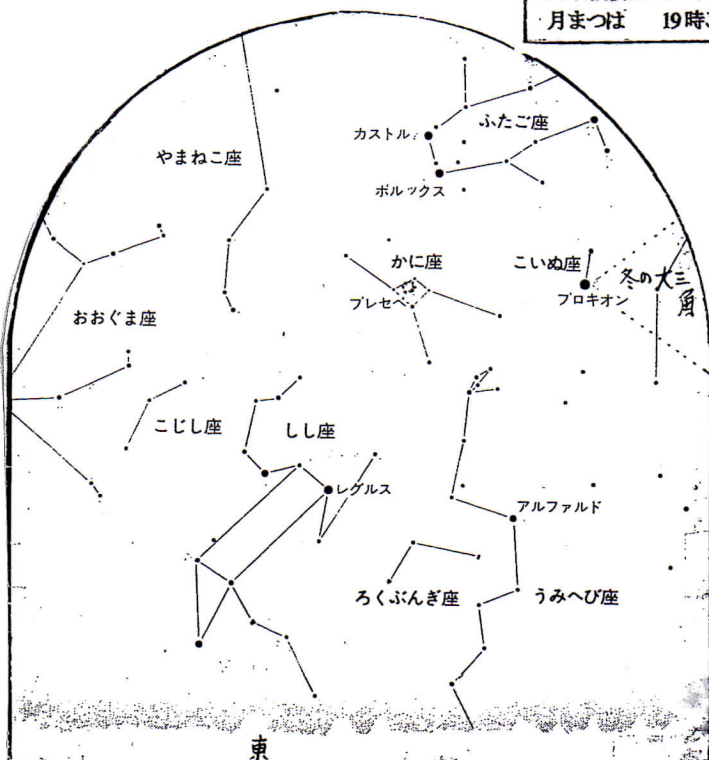
## 東の星空

月はじめは 21時ころ  
 10日前後は 20時20分ころ  
 20日前後は 19時40分ころ  
 月まつは 19時ころ

東の空には、かに座・しし座・うみへび座など、春一番の星座たちがおどりをしてきました。

その中でも、特にしし座が目立ち、青白色の1等星が獅子(ライオン)の心臓にあたるレグルスで、これから上の「？」を裏がえしたように見える部分が胸と頭になります。

かに座の中に点線で丸く書かれているのはプレセペという散開星団で、70個もの星の集りです。



## 西の星空

秋の夜空をにぎわしていたおうし座の牛が、2本の角を上立て、折り曲げた前足を左に向けた胸から伸ばしている様子がとてもよく分かります。

それに、この星座で有名なヒアデス星団とプレアデス星団が肉眼でもきれいに見えます。

また、おひつじ座とうお座の堺のあたりには5.7等の天王星がいて、今月は星座の中をほんの少ししか動きません。なお、時刻の関係で図には書けませんが、日が暮れて間もない西空のみずがめ座には-4.1等のたいへん明るい金星がいますし、地平線近くのやぎ座には-1等の水星がいて、どちらも星座の中を毎日どんどん動いていきます。

